

「第2次浦安市生涯学習推進計画・浦安市生涯スポーツ推進計画」に係る施策事業の進捗状況について

<社会教育委員からの意見・質疑と回答> (6/23開催・令和5年度第2回定例社会教育委員会議)

①第2次生涯学習推進計画

No	事業名	担当課	社会教育委員からの意見・質疑	担当課からの回答
11	コミュニケーション支援事業意思疎通支援事業	障がい福祉課	「現状分析」の説明文が理解しづらいため、市民が見たときにわかりやすいよう修正してほしい。	ご指摘を踏まえ、別紙「進捗状況調査シート(修正版)」のとおり修正した。
14-2	浦安アートプロジェクト	生涯学習課	近隣都市にない浦安独自の社会教育事業として市内外で注目されている。 シティオーケストラ、美術展・写真展など既存の文化事業との連携や、オリエンタルランドなど企業などの協力も得て、多くの市民を巻き込んで浦安らしいアートを活用したまちづくりを強かに継続発展させてほしい。	市内民間企業や関連団体、学校等の協力や連携を得ながら、多くの市民が参加できる場や機会を創出していく。
15	生涯学習情報紙発行	生涯学習課	紙ベースでの情報提供機会を維持すべきであると考え、Webでのアクセス数の少なさが顕著である。	「このゆびとまれ」については、令和3年度より、紙面発行からweb配信に変更しているが、web配信したことを広く周知するため、令和4年度の夏号及び春号の発行の際は、QRコード付きのお知らせチラシを市内の保育園・幼稚園・認定こども園・小中学校に配布した。 「このゆびとまれ」の発行の効果を検証するため、春号の掲載行事において、来場者に来場のきっかけを問うアンケートを実施したところ、「このゆびとまれ」をきっかけに各行事に参加した人の割合は全体の約3.4%に留まり、紙でチラシを配布したにもかかわらず、来場に直結していないことがわかった。各施設において、施設独自の広報紙やホームページ等により、各行事の周知を行っていることから、今後、「このゆびとまれ」の夏号と春号は発行しないこととし、毎年県民の日に行う「うらやすまるごとこども広場」の周知を行う「特別号」のみを発行していくこととした。
16	生涯学習情報提供システム運営事業	生涯学習課	月1でもよいから、「広報うらやす」に生涯学習に関する情報スペースを確保し、高齢者向けサービスを復活させてほしい。	生涯学習に関わる情報について、郷土博物館、図書館、スポーツ関係の情報は、個別に「広報うらやす」に掲載しているが、公民館は、主催事業が多く、「広報うらやす」に掲載スペースを確保することが難しいことから、公民館情報紙「ルネサンス」を発行しているところである。 また、高齢者向けサービスについては、新型コロナウイルスの影響により、ここ数年は多くの事業を中止又は条件付きで開催してきたが、現在は、高齢者対象の「おたっしや体操」、「シニアサロン」、「スポーツ吹き矢」、「うたごえ広場」などを再開しているところである。
17	学習情報提供事業	公民館	事業内容の欄で、「公民館情報誌」と記載があるが、正しくは「公民館情報紙」ではないか。	ご指摘を踏まえ、別紙「進捗状況調査シート(修正版)」のとおり修正した。
			成果指標・目標値について、「R6年度まで:160」、「R11年度まで:180」と設定しており、「R4年度実績値:142」で「進捗状況:B」としているが、目標値が低すぎないか。	生涯学習情報システムでの講座申込数が増えていることを考慮すると、今後数値が伸びる可能性があるため、事業計画数に応じ、目標値を上方修正する方向で検討する。
23	学習相談事業	公民館	成果指標・目標値の記載なしで「進捗状況:B」とした理由を教えてください。 学習相談を担当する部署の責任放棄のようにも見受けられるため、内容を検討する必要があると考え。	学習相談の手段として、利用者の多様な学習に応えたり、一人ひとりが学習や地域での活動に取り組めるよう、「学習相談」「サークルガイドブックの閲覧(毎年更新)」「生涯学習情報システム閲覧」、その他窓口対応など、日常業務として取り組んでおり、学習相談内容が多岐にわたり、正確な実績数を把握するのが難しい状況である。ただし、一定数の相談件数があり、例年とあまり変わらない状況であるものと判断し、進捗状況を「B」とした。今後、成果指標の内容等をどうするかについては、検討していきたい。

「第2次浦安市生涯学習推進計画・浦安市生涯スポーツ推進計画」に係る施策事業の進捗状況について

<社会教育委員からの意見・質疑と回答> (6/23開催・令和5年度第2回定例社会教育委員会議)

①第2次生涯学習推進計画

No	事業名	担当課	社会教育委員からの意見・質疑	担当課からの回答
26	教育相談事業	指導課	「指標は設けないことに変更」の理由を教えてください。	現状分析に記載したとおり、個の支援について実績値を設定することが適切ではないと判断したため、指標は設けないことに変更した。ずっと一人で悩みを抱えていた児童生徒がやっと相談したケースや関係機関とつながり支援が進んだケース等があることを踏まえると、相談は1ケースずつが重要なものであり、安易に相談人数が多ければ成果があったと捉えることはできないため。 なお、別紙「進捗状況調査シート(修正版)」のとおり、 1 指標を設けなくなったことに伴い、成果指標～令和4年度実績の欄を削除 2 内部の連絡事項を誤って記載したため、現状分析欄の該当箇所を削除 3 現状分析欄の相談にかかる記載は「令和4年度 浦安市決算に係る主要施策の成果等に関する報告書」の表現に合わせて修正した。
			「進捗状況:B」とした理由を教えてください。	成果指標は設けないことに変更したが、公認心理師資格を保有する任用者数が増加し、学校や新たに開始する学校外での相談業務が順調に進む見込みがあると捉えているため。
33	浦安市青少年自立支援未来塾	生涯学習課	「成果指標:未来塾で学習を支える人材の数」は、有償ボランティア数なので、支える人材の範疇に入れるのには無理があると考えます。	浦安市青少年自立支援未来塾は、市内の大学生や地域住民、教職経験者が学習支援員となり、市内の中学生に対して個別の学習支援を行う事業である。学習支援員は、教職経験者や教員志望者などであることを要件としており、多くの学習支援員が事業に携わることで、地域全体で子どもを育てる環境の充実が図れるため、有償の学習支援員の数を成果指標として設定していることは、妥当と考えている。
36	地域とともに歩む学校づくり推進事業	教育政策課	コロナ禍での実績値としては素晴らしいと思う。事例の紹介をしてほしい。	市内市立小中学校のほか、学区内の幼稚園・認定こども園の活動の報告を受けており、令和4年度の主な取組は以下のとおりである。 <主な活動> (1)幼稚園・認定こども園 : 絵本読み聞かせ、園外保育手伝い、昔あそび等 (2)小学校 : 花壇等植栽活動の環境整備、防犯・交通安全等の教室、登下校見守り (3)中学校 : 地区パトロール、職業体験、キャリア教育等
			進捗状況について、「C」ではなく「B」ではないか。	コロナ禍で様々な活動が制限される中、地域ボランティアへの声掛けを積極的に行い、学校支援コーディネーターには学校と地域をつなぐ役割を担っていただいているため、Bに値する評価としていただけたことは、今後の事業に生かしていきたいと考える。
38	子ども読書活動推進事業	指導課・図書館	成果指標とR4年度実績値より、児童生徒の深刻な図書館(文字)離れが心配である。	【指導課】 各学校の「読書週間」では、図書委員会が中心となり、様々な取組を企画・運営し、児童生徒の読書活動の推進を図っている。「読書週間」に関連した取組を引き続き実施することで、読書離れや図書館離れの児童生徒に対する本への興味付けを行う。また、各学校では、学校図書館教育全体計画や学校図書館活用年間計画を位置付けているので、学校司書と連携し、各教科で計画的・積極的に学校図書館を活用した授業の推進を図る。 【図書館】 子ども向けの事業や、読書通帳の学校連携等で図書館に来館するきっかけを作るとともに、子どもの興味・関心に留意した蔵書の構築や、推薦図書リストの作成、図書の展示等で、子どもが読書の喜びを感じられる本に出会えるように取り組んでいきたい。

「第2次浦安市生涯学習推進計画・浦安市生涯スポーツ推進計画」に係る施策事業の進捗状況について

<社会教育委員からの意見・質疑と回答> (6/23開催・令和5年度第2回定例社会教育委員会議)

①第2次生涯学習推進計画

No	事業名	担当課	社会教育委員からの意見・質疑	担当課からの回答
43	創業支援セミナー	図書館・商工観光課	市民ニーズに応え、講座数や募集人数の大幅な拡大を考慮すべきである。	【図書館】 募集人員の拡充については、今後市民ニーズを踏まえ、主催する浦安商工会議所や商工観光課と協議していく。 【商工観光課】 令和5年度から、セミナー修了生を対象としたフォローアップセミナーを新たに年1回開催することとしている。定員及び開催回数の増加については、主催者である浦安商工会議所と協議・検討していく。
44	コミュニティ・スクール設置準備事業	教育政策課	「社会教育」の究極の姿、理想の姿として、家庭、学校、地域社会が協働して次世代人材を育成支援ほしい。そのためには、「コミュニティ・スクール」の10年ビジョン、潜在的な浦安市民の発掘と活用、立派な社会教育施設(文化・スポーツ面)のフル活用が必要である。	コミュニティ・スクールの仕組みを生かして学校と地域の効果的な連携・協働を推進していくためには、より多くのより幅広い層の地域住民団体、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成する「地域学校協働本部」と双方が機能することが重要と考える。 本市においては、地域と学校をつなぐ役割として、社会教育法に規定されている、地域学校協働活動推進員(学校支援コーディネーター)を市内全小中学校に配置済みである。 この方が学校運営協議会の委員やアドバイザーとして参加することで、学校と地域が目標やビジョンをしっかりと共有した上で、効果的に地域学校協働活動を実施することが可能になるとともに、地域人材の発掘・活用や育成等、学校と地域が「一体的」に取り組む推進体制の構築につながると考えている。
47	生涯学習推進体制の充実	生涯学習課	成果指標目標値を「R6年度まで:5」、「R11年度まで:7」と設定している中、「R4年度実績値:1」と低いため、努力すべきである。	令和4年度の実績である「うらやすまるごとこども広場」を今後も継続するとともに、全庁的に関係部署同士の積極的な連携に努め、生涯学習推進体制の充実を図っていく。
86	図書館講座・講演会	図書館	類似事業もあるので、事業を見直し、廃止も考慮してよいのではないかと。	図書館の講演会については、蔵書の充実と合わせて実施することで、図書館の利用を促し生涯学習の機会を拡充していく効果を期待するものであるため、今後も継続していきたい。
121	図書館施設の拡充	図書館	日の出分館の現状から、新町地域への新規図書館の必要性を感じる。	新町地域の図書館施設の拡充については、市の公共施設の整備計画の中で、今後検討する。
146	地域の人材活用・育成事業	公民館	コロナ禍の責任にたくないと考える。今後も、市民主体の持続可能な生涯学習体制づくりの基盤となる人材育成に努力していただきたい。	引き続き、市民サークル、団体及び関係機関等や地域の人材を活用した主催事業を公民館と連携し、生涯学習体制づくりの基盤となる人材育成に努めていく。
157	生涯学習職員研修	生涯学習課	研修による職能の向上は公務員としての義務である。見直しの必要はないと考える。	研修により職員の職能の向上を図ることは重要と考えていることから、職員の個々のニーズに応じて、効果的に研修を受講できるようにするため、研修計画の見直しを行っている。国や県が例年、年間通して計画している研修以外にも、研修の機会があれば随時職員に周知し、学べる機会を充実させていく。
160	公民館職員研修	公民館	研修による職能の向上は公務員としての義務である。見直しの必要はないと考える。	引き続き、「継続」していく。
180	文化振興事業	生涯学習課	伝統ある事業なので、実施を期待している市民も多数いると思う。関係団体と協議し、実施の可否を検討してほしい。	指定管理者や市民団体などが類似事業を実施していることから、他の実施主体の状況をみながら実施の可否を検討していく。
-	計画全体をとおして「社会教育」と「生涯学習」の違いと使い分けについて	生涯学習課	「社会教育」の主体は自治体、行政である。「生涯学習」の主体は市民である。両者の混同や誤用が計画の中でもまだ多く見受けられる。両者を明確に区分して、行政が主体的にやることと市民が主体的に学習することを再編成してほしい。	今後予定している「第2次浦安市生涯学習推進計画」の中間見直しにあたっては、改めて「生涯学習」と「社会教育」の違いを整理しながら策定を進めていきたい。

「第2次浦安市生涯学習推進計画・浦安市生涯スポーツ推進計画」に係る施策事業の進捗状況について

<社会教育委員からの意見・質疑と回答> (6/23開催・令和5年度第2回定例社会教育委員会議)

②生涯スポーツ推進計画

No	事業名	担当課	社会教育委員からの意見・質疑	担当課からの回答
2	健康づくり事業	公民館	「チャレンジスポーツ」の開催に賛成である。スポーツ協会も類似のイベントを進めているので、連携・協力について検討してほしい。	「チャレンジスポーツ」については、スポーツ協会と共催事業として実施している。
13	浦安スポーツフェア	市民スポーツ課	行政主体のイベントが、市民団体へ円滑に移行できたものと窺える。 問題点や改善点を検証し、市民団体を育てていただきたい。	今後も市内各スポーツ団体と連携を図り、団体が持つ専門性や経験値を活かし、自発的に運営を行っていただくことで、市民の多様なニーズに応じたスポーツイベントを実施していく。
19	軽スポーツ大会	市民スポーツ課	主要事業の見直し、廃止は英断である。 今後も軽スポーツへの支援をしていただきたい。	今後も市民が気軽にスポーツに取り組めるよう、各スポーツ関係団体と連携・協力し、軽スポーツの普及・振興を図っていく。

進捗状況調査シート(第2次生涯学習推進計画) R4年度分【修正版】

No	事業名	担当課	基本施策	事業目的	事業内容	成果指標	成果指標に設定されている目標値			令和4年度実績値	進捗状況	現状分析	令和5年度以降の方向性
							平成30年度実績値	8年度までに	11年度までに				
11	コミュニケーション支援事業(意思疎通支援事業)	障がい福祉課	1-1-③	健聴者と聴覚障がい者等との意思疎通を図るため、手話通訳者の窓口配置を行う。また手話通訳者及び要約筆記者の派遣を行う。	意思の疎通が困難な聴覚障がい者に対し、コミュニケーションの支援を行う事業として、手話通訳者を障がい福祉課の窓口(週5日:月～金の午前9時～午後5時)するとともに、手話通訳者や要約筆記者の派遣を行っている。	手話通訳者及び要約筆記者の派遣回数(回)	577	600	600	409	C	令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通院や外出を控えていた方が減少し、手話通訳者や要約筆記者の派遣依頼数が前年度比較で増加した。 令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、通院や外出を控えていた方が減少し、通院や外出してきたことに伴い、手話通訳者や要約筆記者の派遣依頼数が前年度比較で増加した。	継続
17	学習情報提供事業	公民館	1-2-①	インターネットや紙媒体等により、市民一人ひとりが個人の目的にあった学習に取り組めるよう学習情報を提供する。	市民の多様な学習に応えられるよう、公民館情報紙誌を発行するとともに、生涯学習情報システムを活用したインターネットによる学習情報の提供を図るとともに、インターネットから簡単に講座申込みができる環境を整える。	生涯学習情報システムでの講座申込数(回)	-	160	180	142	B	公民館情報紙「ルネサンス」および生涯学習情報システムで定期的に講座・イベント情報を発信した。また、浦安市公民館TwitterやYoutubeを活用し、各館の講座情報や動画を公開した。これらの情報をもとに、主催事業への参加者が増えるなど、一定の成果があったので、今後も継続し取り組んでいく。	継続
26	教育相談事業	指導課	1-2-②	児童生徒が健やかな学校生活を送れるよう、精神的な悩みの発見や相談に対応し、支援する。	「スクールライフカウンセラー」を全小中学校に各1名配置し、児童生徒の精神的な悩みの発見、相談や解消に向けての援助、予防等を行い、学校生活を支援するとともに、保護者、教職員への援助を行う。	生活実態調査「学校に行くのは楽しいですか」の質問に対する否定的な回答の割合の減少率	小9.8% 中8.3%	小8.8% 中7.7%	小8.4% 中7.3%	指標は設けないことに変更	B	〔浦安市学校教育推進計画〕における教育相談事業の見直しにおいて、指標を設けないことに変更したことから、第2次生涯学習推進計画においても同様の対応とした。→内部の連絡事項のため削除 相談件数の把握を延べ人数から実人数へと変更し、児童生徒ごとの相談記録(個票)を作成することで、関係機関とのつながりや支援の経過等、個々の相談状況を具体的に把握できるようにした。個々の支援について実績値を設定することが適切ではないと判断したため、指標は設けないことに変更した。 令和4年度の相談実人数は、児童生徒852人(児童637人・生徒215人)、そのうち保護者も相談したケースの人数は152人、保護者のみの相談は142人、小学校で児童が相談した637人と、保護者のみが相談した児童134人のケース、中学校で生徒が相談した215人と、保護者のみが相談した生徒58人のケース、合わせて児童生徒1,044人の相談ケースに対応した。 令和5年度からは、浦安市における「子どもの相談」を充実させていくため、スクールライフカウンセラーの資格は、国家資格である「公認心理師」で統一して配置していく。 さらに、学校外の施設においても定期的に相談を受けるようにし、専門性や地域との連携を生かした心理的支援を行っていく。	拡大